

卯年生まれの方にお話を伺いました!



田向 正和

昭和38年生まれ
坂西三丁目

新年あけましておめでとうござい
ます。

坂町で生まれ育ち、早いもので私
も還暦を迎える年になりました。

4年前の西日本豪雨災害の河川
の氾濫で被害を受けた道の復旧作
業が進み、昨年やっと川沿いの道を
真っ直ぐ車で自宅まで帰れるよう
になりました。

しかし、私が長年勤めてきた坂町
内のAコープの店舗は復旧すること
はなく、地域の皆様に直接サービ
スを提供できなくなり、本当に残念です。
新型コロナウイルスも中々終息を
迎えてくれませんが、昨年カープに
新井監督が就任という明るいニュー
スがありました。

根っからのカープファンの私は新井
監督にカープ本来の野球を全うして
もらい、笑顔で毎日過ごせることを
期待しています。がんばれカープ!

最後に、坂町のますますのご発展
と皆様のご健康とご多幸を心から
祈り申し上げます。



大平 由美

昭和50年生まれ
小屋浦三丁目

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
早いもので夫婦ともに、4度目の年
男・年女となりました。

私は、長女の出産と同じ年、主人の
産まれ育った小屋浦に戻ってきました。
あれから19年、海・川で泳ぎ、山へと登
り、自然豊かなこの町で3人の子育て
をしております。昨年は末っ子が中学
生となり成長が嬉しいとともに、どん
ん手が離れていくのを寂しくも感じて
おります。

西日本豪雨では自らも被災し、思い
もよらぬ経験をしました。その後、砂防
ダムが多く建設され、安全な町へと復旧
が進んではいますが、近所には空き地が
目立ち、その上近年は、新型コロナウイルス
の影響で一層、人と交わることが少
なくなると日々感じております。

終わりに、まだまだ人との交流が難
しい日々が続きそうですが、今年はこの
までに培った感染防止を徹底しつつ、コ
ロナ禍以前の行事が再開され、町中に
賑わいが戻ることを切に願っております。



河本 莉那

昭和62年生まれ
鯛尾二丁目

あけましておめでとうござい
ます。坂町で生まれ育ってきた私も、今年で
3回目の年女を迎えます。

私は坂中学校で陸上と出会い、先生方
のおかげもあり高校、実業団と陸上を続
けることができました。今は母となり、小
学生の双子の子育てを父と母に助け
てもらいながら、奮闘している毎日です。

私の影響もあるのか、子供達も「坂
ジュニア陸上」で陸上を頑張っています。
私自身、陸上を通じて色々な方と出会い、
助け合いや様々な経験をすることができ
ました。楽しい事はばかりではありません
でしたが、その経験が今の生活や仕事に
活かされている事もたくさんあります。

子供達も陸上に限らず、スポーツなど
を通じて、つらいこともあります。大人
になった時、やってよかったと思える時が
きつとくると思うので、たくさん経験し
て成長して欲しいです。

最後に、これからも坂町が地域のつな
がりがある、子育てしやすい町でありま
すように願いつつ、坂町のご発展と皆様
のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

